

# Central Daily Market Report

2020年12月18日(金)

セントラル短資株式会社 総合企画部

## ●資金需給

単位：億円	2020年12月18日		2020年12月21日		2020年12月22日	
	需給速報	需給予想	需給速報	需給予想	需給速報	需給予想
銀行券	▲ 2,700	▲ 1,700	▲ 2,700	▲ 1,700	▲ 3,000	▲ 3,000
財政	19,700	71,700	19,700	71,700	3,000	3,000
資金過不足	17,000	70,000	17,000	70,000	0	0
<b>金融調節</b>						
	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入						
CP等買入		▲ 1,300		▲ 600		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援		▲ 100				
社債等買入		▲ 1,000				
新型コロナ対応金融支援特別						
E T F 買入			100			
国債補完供給	▲ 300	100		300		
*ドル資金供給用担保提供供給						
当預増減	14,400	69,800	14,400	69,800	0	0
当座預金残高	4,864,100	4,933,900	4,864,100	4,933,900	4,933,900	4,933,900
準備預金残高	4,266,400		4,266,400			
積み終了先	4,264,400		4,264,400		12月21日以降の残り所要積立額	
超過準備	4,254,600		4,254,600		積数	12,000
非準備預金先	597,700		597,700		1日平均	500
積み期間(12/16~1/15)の所要準備額						3,581,400
準備預金進捗率	実績	99.66%	日数	16.13%		

## ●2020年12月18日の市場動向

### <インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、国内勢を中心に▲0.05~▲0.01%の出会いで始まった。引き続き全般的に調達ニーズが強いことに加え、3日積みとなったこともあり、前日比でレートが上昇した。一巡後は目立った出合いは無く、出し手の調整による散発的な出合いにとどまった。ターム物は月内物の引き合いが複数見られた。

### <レポ市場>

GC T/N(12/21-12/22)は、▲0.08~▲0.07%程度での出会い。SCはローラーオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では2Y410~419、5Y136~145、10Y345~360、20Y167~174、30Y59~68、40Y10~13等にビッドの出入りがあった。

### <短国市場>

本日のアウトライト市場は動意なく閑散な中、3M物が▲0.100~▲0.099%、6M物が▲0.107~▲0.105%、1Y物が▲0.117%で出合った。

### <CP市場>

CP発行市場は、輸送機器・卸売業態で大型発行があり、償還総額は1,800億円程度に対し発行総額は1,300億円程度となった。発行レートは、概ね横ばい圏であった。

## ●入札結果

本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。

## ●2020年12月21日の予定

\*7-9月期の資金循環統計速報

## ●短期金融市場関連指標

2020/12/18	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位：%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.080	0.001	▲ 0.022				-	▲ 0.072	0.005	0.000	26,763.39	▲ 43.28	103.15-16	103.46-47
T/N	▲ 0.012	0.001	▲ 0.003				-	▲ 0.077						
S/N							-	-						
1W	▲ 0.018	▲ 0.015	▲ 0.016				-	▲ 0.080						
2W							-	▲ 0.091						
3W							-	▲ 0.094						
1M			0.100				-	▲ 0.097						
3M							▲ 0.099	▲ 0.102						
6M							▲ 0.107	▲ 0.123						
1Y							▲ 0.117	▲ 0.148						
									日付	12/11	12/14	12/15	12/16	12/17
									日銀当預残	4,768,000	4,762,300	4,868,200	4,826,800	4,849,700
									準備預金残	4,180,500	4,216,900	4,270,800	4,242,400	4,269,100
									マネタリーベース	5,970,900	5,966,400	6,074,300	6,034,900	6,060,600
									無担O/N加重平均	▲0.030%	▲0.028%	▲0.023%	▲0.033%	▲0.027%
									コール市場残高	143,570	134,955	133,796	129,253	134,008
									うち無担	121,711	113,169	110,663	107,315	111,139
									うちO/N	72,193	73,426	72,640	66,847	70,646
									うち有担	21,859	21,786	23,133	21,938	22,869

## ●オペ結果

種類	オファー額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)		2020/12/18	2020/12/21	▲ 0.350	284	284		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補完供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)		2020/12/18	2020/12/21	▲ 0.350	0	0				

## ●日銀金融政策決定会合・結果

- 日本銀行は、引き続き、企業等の資金繰りを支援していく観点から、新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラムについて、期限を半年間延長するとともに、運用面の見直しを行うこととし、以下の決定を行った。
  - CP・社債等の増額買入れ(全員一致)
 

CP・社債等の増額買入れの期限を半年間延長し、2021年9月末までとする。CP・社債等買入れについては、引き続き、合計約20兆円の残高を上限に買入れを実施するが、このうち、追加買入れについては、CP等と社債等の合計で15兆円とし、市場の状況に応じて、それぞれに配分することとする。(従来、追加買入れは、CP等、社債等、それぞれに7.5兆円としていた。なお、追加買入れ枠以外のCP等、社債等については、それぞれ約2兆円、約3兆円の残高を維持する。)
  - 新型コロナ対応金融支援特別オペ(全員一致)
 

新型コロナ対応金融支援特別オペの期限を半年間延長し、2021年9月末までとする。あわせて、民間金融機関が独自に行っている中小企業等への新型コロナ対応融資を一層積極的に支援するため、同オペの対象となる適格融資のうち、プロパー融資にかかる金融機関当たりの上限(1,000億円)を撤廃することとする。
- 金融市場調節方針、ETFおよびJ-REITの買入れ方針については以下のとおり決定。
  - 長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成8反対1)
 

短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。  
長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとする。(金利が急速に上昇する場合には、迅速かつ適切に国債買入れを実施する。)
  - ETFおよびJ-REITの買入れ方針(全員一致)
 

ETFおよびJ-REITについて、当面は、それぞれ年間約12兆円、年間約1,800億円に相当する残高増加ペースを上限に、積極的な買入れを行う。(ETFおよびJ-REITの原則的な買入れ方針としては、引き続き、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行い、その際、資産価格のプレミアムへの働きかけを適切に行う観点から、市場の状況に応じて、買入れ額は上下に変動しうるものとする。)

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入